

令和5年9月12日

松柏中学校保護者各位

八幡浜市立松柏中学校
校長 村上 剛

全国学力・学習状況調査の結果について

清涼の候、保護者の皆様方におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動に対して、御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果の概要がまとまりましたので、御報告いたします。この結果を基に、3年生はもとより、1・2年生についても、授業改善や生徒指導の充実に務めてまいりたいと考えておりますので、御家庭でも御支援をよろしく願います。

記

1 実施期日 令和5年4月18日（火）… 国語、数学、英語
令和5年5月10日（水）… オンライン形式で、「生徒質問紙」調査と「英語」の「話すこと」

2 実施科目等 「国語」、「数学」、「英語」及び「生徒質問紙」調査

3 結果の概要

<注意事項>

「全国学力・学習状況調査」によって測定できるのは学力の一部であり、教育活動の一側面であることを御了解ください。

(1) 全体の傾向

ア 「国語」の平均正答率は、全国平均より6ポイント、県平均より7ポイント高い。

イ 「数学」の平均正答率は、全国平均より6ポイント、県平均より7ポイント高い。

ウ 「英語」の平均正答率は、全国平均より0.4ポイント、県平均より3ポイント高い。

エ 「生徒質問紙」調査による「基本的な生活習慣」および「学習」に関する回答は、どの質問に対しても良好な結果だった。

(2) 「国語」、「数学」、「英語」の分析

ア 「国語」について

○ 各観点、各問題形式の全てにおいて、全国や愛媛県と比較して正答率が高かった。特に「知識及び技能」の中では「我が国の言語文化に関する事項」、「問題形式」では「記述式」の正答率が非常に高かった。

● 「知識及び技能」に関する問題の中で、「情報の扱い方に関する事項」のみ、全国や愛媛県と比較して正答率がわずかに低かった。

◇ 基本的な事柄は十分に身に付いているため、今後はある程度の長さの文章を読んで要約したり、見出しを付けたりする学習活動に取り組ませたい。

イ 「数学」について

○ 3問以外の全ての問題において、平均正答率が全国や愛媛県と比較して高かった。また、この3問もほとんど差はなく、無解答率は低かった。

○ 「生徒質問紙」でも、「数学の授業はよく分かるか」の問いの肯定率が97.8%と全国平均より22.5%も高く、他の項目に関しても全国平均より高かった。

● 全国平均より正答率が低かった3問のうち、2問が思考・判断・表現の問題だった。

◇ 各単元の終わりに課題学習に取り組む時間を確保し、生徒同士の練り合いや自分の考えを発表、説明する時間を充実させていきたい。

ウ 「英語」について

- 「聞くこと」や「読むこと」では、「適語（文・グラフ等）選択の問題」、また、「条件作文や書き換えの問題」の正答率が、全国や愛媛県と比較して高かった。
- 「読むこと」では、「大まかに内容をつかむ問題」と、「未来表現の肯定文を書く問題」の正答率が全国や愛媛県と比較して低かった。
- ◇ 「聞くこと」や「書くこと」に比べて、「読むこと」の正解率が低いため、今後は、ある程度の単語数で書かれた英文の大まかな内容を読み取る問題に取り組ませたい。

(3) 「生徒質問紙」の分析

ア 基本的な生活習慣について

- 以下の項目に対して、全国や愛媛県の平均に比べて肯定的な回答が特に高かった。
 - ・ 朝食、就寝時刻、起床時刻などの生活習慣に関する項目
 - ・ 友達や教師など、他者との関わりについて、また、自らの行いや自己肯定感につながる項目
- 肯定的な回答が低かった質問
 - ・ 将来の夢や目標を持っていますか。
 - ・ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
 - ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。
- ◇ キャリア教育の工夫・充実を図っていく。将来の目標や進路設定と、教育活動をしっかり結び付け、学ぶ意欲の向上を目指していきたい。また、他の人、他の意見を認めるような相互の信頼関係に満ちた集団づくりを目指していきたい。

イ 学習について

- 以下の質問に対して、全国や愛媛県の平均に比べて、肯定的な回答が特に高かった。
 - ・ 先生は、授業やテストで間違えた所や、理解していない所について、分かるまで教えてくれている。
 - ・ 学習した内容について、分からなかった点などを見直して、次の学習につなげている。
 - ・ 道徳科の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動ができています。
 - ・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、活動に取り組んでいる。
- 全国や愛媛県の平均に比べて、肯定的な回答の割合が低かった項目はありませんでした。
- ◇ 今後も、生徒一人一人の質問等に丁寧に対応していきたい。

4 今回の結果を振り返って

今年度の学力調査の結果、どの教科においても、全国及び愛媛県と比較して、平均正答率が高かった。「生徒質問紙」でも、各教科で学ぶことの大切さについて肯定率が高かった。また、基本的な生活習慣や学習習慣についても身に付いていることが分かった。

以上のことを踏まえて、3年生だけでなく、1・2年生についても、以下のことを対策として実践していきたいと考えておりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

- 1 小テスト等を活用し、基礎・基本の定着を図る。また、教師が生徒の学習面でのつまずきに気づき、生徒が何でも相談できる学習環境を構築する。
- 2 生徒自身が「いつまでに」「何を」「どのように」頑張るのか、具体的に考えて、取り組めるよう支援する。
- 3 学校行事等やキャリア教育の充実を図る。学校行事等で達成感や成就感を味わうことで、自己肯定感の高揚につなげていく。キャリア教育では2学期以降、3年生は進路選択の取組が本格的になり、1・2年生は職場体験や職業調べ等の活動を予定しているので、それらの活動を充実させる。
- 4 3に関連して、家庭でも話し合いをしていただくよう、各種通信やホームページを通じて啓発に努め、家庭との連携を深めていく。